



日本郵便株式会社と 包括連携に関する協定書を締結

11月20日(金)に鳩山町(政策財政課)と日本郵便株式会社(坂戸郵便局及び鳩山町内郵便局)は、互いに有する人的・物的資源を有効に活用して、住民サービスの向上等を図ることを目的に、包括連携に関する協定書を締結しました。

町と郵便局では、平成29年6月に二つの協定を既に結んでいますが、今回の協定書では、「安心安全な暮らしに関すること」「地域経済活性化に関すること」「未来を担う子どもの育成に関すること」「女性の活躍推進に関すること」

「その他地域活性化・住民サービス向上に関すること」を加えて包括的に締結することになりました。

坂戸郵便局の霜田局長は、「今後も町と連携して、地域に根差した郵便局として協力していきたい」と話していました。この協定により、見守り活動といった地域課題の解決などに向けて、より魅力的な町になるように連携を図っていきます。



全日本書芸文化院「第70回全国書道コンクール」 鈴関 安珠弥さんが東京都知事賞を受賞



◀受賞された鈴関さん



▶東京都知事賞を受賞された作品

全日本書芸文化院開催の「第70回全国書道コンクール」で、鳩山町在住の鈴関安珠弥さんが、応募総数9,153点の中から毛筆部で最優秀大賞(15名)に選ばれ、更に東京都知事賞を受賞されました。

鈴関さんは「子どもの頃から母のもと、書道習ってきて、書道は私を成長させてくれました。今回このような賞をいただけて嬉しいです」と話していました。鈴関さんは大学卒業後に、母校の高校で、教師として書道を教える道を進んでいくとのこと、今後の活躍が期待されます。

鈴関さんの作品は全日本書芸文化院のホームページからご覧いただけます。



はとやまハウス入居学生企画の はとやまニュータウンマルシェが開催されました

11月21日(土)に、学生用シェアハウス「はとやまハウス」に入居している学生の小西隆仁さん(東京藝術大学)と永田伊吹さん(東洋大学)が研究活動の一環として企画した「はとやまニュータウンマルシェ」が開催されました。イベントでは、小西さん、永田さんが自ら設計・制作した家具を用いながら「分散型」イベントとして、ニュータウン内の住民の協力のもと、住宅や庭もイベント会場として活用し、音楽演奏や物販などが行われました。

また、鳩山町コミュニティ・マルシェでは、ワークショップも行われ、晴天のもと、それぞれの会場では住民の方々が楽しむ姿が見られました。



◀今回のイベント企画者の永田伊吹さん(写真中央)と小西隆仁さん(写真右)

◀イベント会場を分散して音楽演奏や物販販売を行いました。

一般財団法人リモート・センシング技術センター (RESTEC)と 地域協力活動に関する包括協定書を締結



11月24日(火)に一般財団法人リモート・センシング技術センター (RESTEC)と鳩山町(政策財政課)で地域協力活動に関する

包括協定書の締結を行いました。

これは RESTEC が持つ人工衛星データや、最先端の技術等の活用を通じて、地域における課題(文化、教育、防災などのまちづくり)の解決を図ることを目的としています。RESTEC の池田理事長は「財団の経験と技術を地域の活性化に役立てたい」と話していました。

また今回の締結を記念して、鳩山町を人工衛星から写した画像を印刷したフロアマットが、RESTEC から寄贈されました。役場1階ホールに設置しましたので、来庁の際はぜひご覧ください。

▲RESTEC から寄贈されたフロアマット(4.5m × 4.5m)



鳩山町コミュニティ・マルシェで 埼玉県知事による 「ふれあい訪問」が行われました

11月27日(金)に鳩山町コミュニティ・マルシェで埼玉県知事による「ふれあい訪問」が行われました。この訪問は、知事自身が県内各地の様々な現場を訪問することで、地域の実情を把握して県政に的確に反映させることを目的としています。

知事は、鳩山町コミュニティ・マルシェ内のニュータウンふくしプラザやシェア・オフィス、移住推進センター、まちおこしカフェを興味深く視察した後、ふくしプラザミーティングルームで意見交換を行っていました。

今回の視察後、知事は「鳩山町コミュニティ・マルシェは、行政と地域が連携し、民間の力を最大限に生かした取り組みとなっており、少子高齢化や空家の増加など同様の課題を抱える他の自治体にとって大いに参考となる好事例であると感じた」と話していました。



▲まちおこしカフェ及びニュータウンふくしプラザを視察する大野知事

